

それは、伝統を受け継ぐこと

そこにあるだけで感じる
日本の四季



家の屋は「屋根のプロポーションをいかしきく」当時の形のままに。裏には貯蔵庫が当時の趣のままで残る。



井草の香りがふんわりと心地よい和室に足を踏み入れれば落ち着いた雰囲気に癒される

グリーン系のタイル張りがレトロな印象のトイレは、歐風のインテリアと合わせてお洒落な雰囲気です。



引き戸はアンティーク調だが建具からすべて新しいオリジナル製品。1枚1枚違う表情を見せるアンティーク調のガラスはフランス製



木々の芽吹きや葉の色づき、虫の声、そこかしこに咲く花。ただそこにあるだけのものが、巡る四季の訪れを教えてくれる虫の声、そこかしこに咲く花。ただそこにあるだけのものが、巡る四季の訪れを教えてくれる

虫の声、そこかしこに咲く花。

ただそこにあるだけのものが、

巡る四季の

虫の声、そこかしこに咲く花。

ただそこにあるだけのものが、

虫の声、そこかしこに咲く花。



寝室はヨーロピアンスタイルでまとめあげられた

エコロジーだと思いますか?」

と三上さんは言う。

日本古来の伝統建築と、そこ

に残る住文化を現代に継承する古民家再生。「ハウスランド社」の家づくりには、失われつゝある日本文化を見直したいといふ気持ちが込められている。

現代建築で薄れてしまった日本住宅のよさを今取り入れ再び輝かせたいと。決して古い物や伝統に固執しているわけではない。使える部分は生かしながら間取りや素材など現代に合合うよう変えていく。

日本住宅の「和」や「洋」をうまく融合させているのも、建具などをすべてオリジナルで造作された「風のくら」の特徴だ。玄関の引き戸にはめ込んだアンティーク調のガラスはフランス製。自然素材の土壁はスペイン製。よりも、国産品にない味わいを持つものを積極的に採り入れ、上手に和と融合させることで新たなティアを生み出している。

今後「風のくら」は展示場として来客に家づくりのアイデアを与える方、古民家スタジオとして多様なイベントを行っていく予定だ。

古民家再生の意義は 伝統の継承と新生

「古い家を知らない若い方も多く、愈されるとか懐かしいとか。田舎に帰ってきたみたいななんて感じの方もいるようですね」とは、「この風のくら」を手がけた「ハウスランド社」の三上信比古さん。同社は新築注文住宅を中心とした50年の歴史を持つが、25年ほど前から古民家の再生にも力を注いでいる。

「特別なことをしているつもりはないんです。せっかく丁寧に建てられた家を壊すなんてもつたらない。まだ使えるところは生かしながらリバーションで新たな息吹きを吹き込んで現代に再生する。これこそ究極の



古民家スタジオ
「風のくら」
福岡県筑紫野市大字山口2122
連絡先
TEL 092-922-8771
HPアドレス
www.kazekura.com



お風呂に入っている間も、筑紫野の豊かな自然を楽しむことができる。清潔感あふれる浴室の左には、風呂上りにちゅうと落めるデッキスペースを設けている



みんなが自然に集まるようなオープンスタイルのキッチンは、シンプルで使いやすさも抜群。濃いブラウンの色合いもインテリアにマッチ

